

2022年度 日本工学院専門学校											
A I システム科											
外国語											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	岩堀 信一			実務 経験	有	職種	システムエンジニア／プロジェクトマネージャ				
担当教員紹介											
担当教員は、主に金融分野・公共分野におけるシステム開発にシステムエンジニア・プロジェクトマネージャとして従事。オフショア開発を通じて外国人エンジニアとの協業経験有り。米国PMI認定PMP、AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト、日本ディープラーニング協会G検定等の資格を有する。											
授業概要											
ライティングに必要な英文をディクテーションする。授業の最後に発表するための準備としてナレーターと同じ速度とリズムで音読できるようにする。文法解説をした後、容易にライティングに取り組めるよう文法の演習問題をする。日常英語をライティングし発表する。また、情報処理に關した資料を使ったリーディングも行う。											
到達目標											
以下の4点を習得することを目標とする。 1．短い会話の内容や意味を大まかに理解し聞き取ることができる。 2．基本的な英文法が理解できライティングの際使いこなせるようになる。 3．語彙を増やし発表の際うまく取り入れることができる。 4．ナチュラルスピードで自分のライティングを発表することができる。											
授業方法											
基本的な英文法の再確認から英語での意思伝達に至るまでをディクテーション・ライティングそして発表するという学習によって習得する。また情報処理に關するものばかりでなく様々なビジネスに使われる文章を学習することで英語に対する苦手意識を払拭し、英語というツールを活用して海外への視野が広がることをねらいとする。 リスニングと主にコミュニケーションをとる時間を作る。（外国語にて）。ライティングに關しての課題を演習とする。											
成績評価方法											
試験・課題 80% 試験や課題を総合的に評価する 成果発表 10% ライティングの発表で評価する （口頭・実技） 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
積極的に授業に参加してもらうため復習は必ず行うこと。授業中の私語や授業態度には厳しく対応する。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	進行形を使った文章のリスニングができる 進行形の文法を理解できる										
第2回	進行形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる										
第3回	未来形を使った文章のリスニングができる 未来形の文法を理解できる										
第4回	未来形を使った日常英語ライティングができる 発表することができる										
第5回	助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる										

2022年度 日本工学院専門学校	
A I システム科	
外国語	
第6回	助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第7回	助動詞を使った文章のリスニングができる 助動詞の文法を理解できる
第8回	助動詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第9回	受動態を使った文章のリスニングができる 受動態の文法を理解できる
第10回	受動態を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第11回	比較を使った文章のリスニングができる 比較の文法を理解できる
第12回	比較を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第13回	不定詞を使った文章のリスニングができる 不定詞の文法を理解できる
第14回	不定詞を使った日常英語ライティングができる 発表することができる
第15回	パラグラフライティングができる 発表することができる